

胸に溢れる緊張と喜び、選手と入場

◎愛媛FCマツタウン

大歓声に包まれながら入場



松山市のニンジニアスタジアムで4月21日、愛媛FCの試合が行われ、マツタウンとして、近永スポーツ少年団サッカー部「鬼北TIGRINHO」の子どもたちが、エスコートキッズとして参加しました。

愛媛FCやこの日の対戦相手である、ヴァンフォーレ甲府のサポーターによる大歓声が響き渡る中、憧れの選手とともに入場してきた子どもたち。その表情には、選手と同じピッチに立つ喜びが溢れていました。

その後、子どもたちは会場内で声援を送り、選手を後押ししていました。

林業について学び、深まる興味

◎愛治小学校林業教室

山内さんの話に興味津々の児童たち



4月20日、愛治小学校で林業教室が行われました。

「緑豊かな愛治」と題して、今年度愛治小学校で実施されている林業教室。今回は講師に日吉農林公社の山内翔平さんを迎え、林業という仕事や、山の基本的なことについて学びました。

私たちの生活になくはならない森林。山内さんはまず森林に興味を持つてもらうと、ユーモア溢れる語り口調で、森林の面白さを子どもたちに伝えました。また、児童たちは実際に農林公社で使用している最大のチェーンソーにも触れ、身を持って林業の大変さも体感していました。

自然の中に響く歌声、安らぐ心

◎日吉産地グリーンフェスティバル

美しい歌声を披露した「キッサコ



「日吉産地グリーンフェスティバル」は4月29日、道の駅日吉産地で開催されました。

会場では、地元の人たちが焼きそば、山菜おこわやうどんなど、さまざまなグルメを販売。また、会場内に設置された特設ステージでは、「輪の会日吉支部」、「日吉コールドナチュレル」や「広蓮」などの地元団体によるさまざまなパフォーマンスが披露され、来場者を楽しませていました。

さらに、フォークデュオの「キッサコ」や、2年連続での登場の「アントニオ・カマケ」が歌声を響かせ、聴く人の心を癒していました。

丹精込めて育てた芸術作品

◎春の山野草展

来場者を魅了した可愛らしい山野草



4月28・29日の2日間にわたって、広見体育センターで鬼北山野草会(会長・武田國次)が主催する「春の山野草展」が開催されました。

会員らが愛情込めて育て上げた山野草の数々。鮮やかな緑色をしたものから、春らしく柔かな色彩をしたものまで、この季節ならではの色とりどりの山野草が会場内を彩り、訪れた人を魅了していました。

毎回、大好評を博しているこの山野草展。この日も県内外から多くの愛好家が訪れ、山野草の話に花を咲かせながら、愛好家同士の交流の輪を広げていました。